

# 少子・超高齢，人口減少社会に対応したまちづくり

～ネットワーク型コンパクトシティ形成に向けた取組～



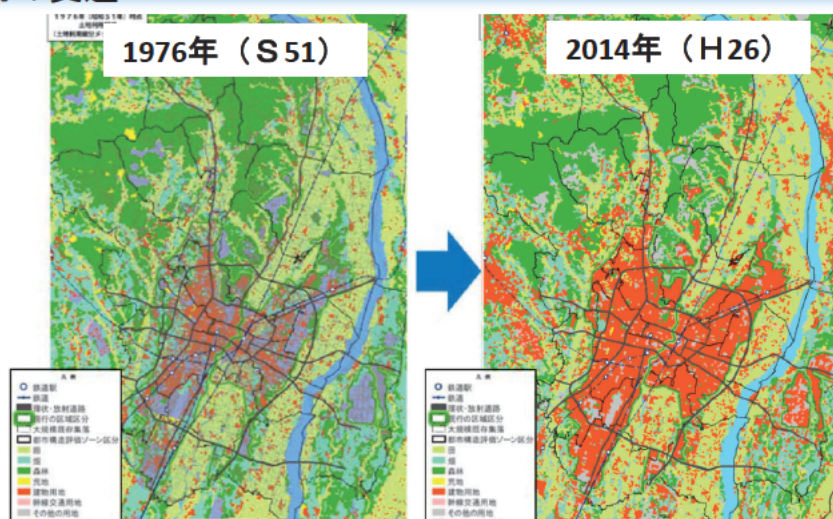
**N**etwork  
**C**ompact  
**C**ity

栃木県宇都宮市都市計画課



## 1.NCCを目指す背景

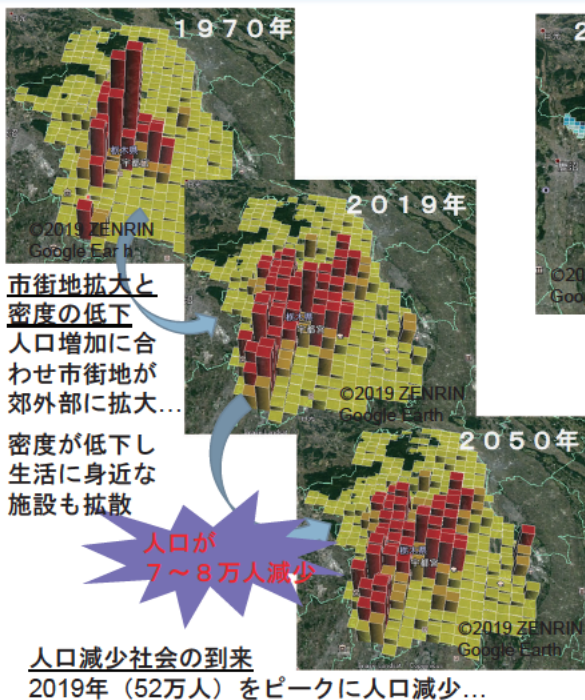
### ◆ 土地利用の変遷



|      | 1976年    |   | 2014年            |
|------|----------|---|------------------|
| 宅地面積 | 4,484ha  | ⇒ | 11,453ha (約2.6倍) |
| 農地面積 | 18,710ha | ⇒ | 14,929ha (約2割減)  |
| 森林面積 | 12,205ha | ⇒ | 9,865ha (約2割減)   |
| 人口   | 約37万人    | ⇒ | 約52万人 (約1.4倍)    |

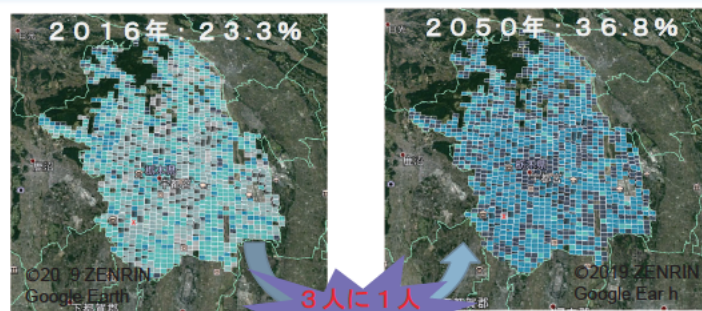
## 2.NCCを目指す背景

### ◆ 総人口の推移



i-都市交流会議2020

### ◆ 高齢化率の推移



### ◆ 公共交通の利用状況

- ・ 高齢者の交通事故の増加
- ・ 公共交通の利用者の減少

#### 本格的な超高齢・人口減少社会の到来により...

- 生活に身近な(必要な)スーパーや病院がなくなる
- 公共交通のサービスレベルがさらに低下
- 車に頼らないと生活できない(高齢者の交通事故増加)
- 自ら運転できなくなった高齢者の外出の困難化

3

## 3.NCCを目指す背景

少子・超高齢化, 人口減少社会においても

子どもや孫など次の世代も幸せに暮らせ, みんなに選ばれる

将来にわたって持続的に発展できるまちを実現するため...

まちの形を, 長い時間をかけて少しずつ暮らしやすい形に変えていくことが必要

むやみに市街地を広げずに, 中心部や身近な地域の拠点の働きや魅力を高め,  
公共交通を使いながら, 行き来しやすいまちの「つくり」に変えていくことが必要

その望ましい姿が『ネットワーク型コンパクトシティ』

21世紀の半ば(2050年)を見通した長期的なまちづくりの構想

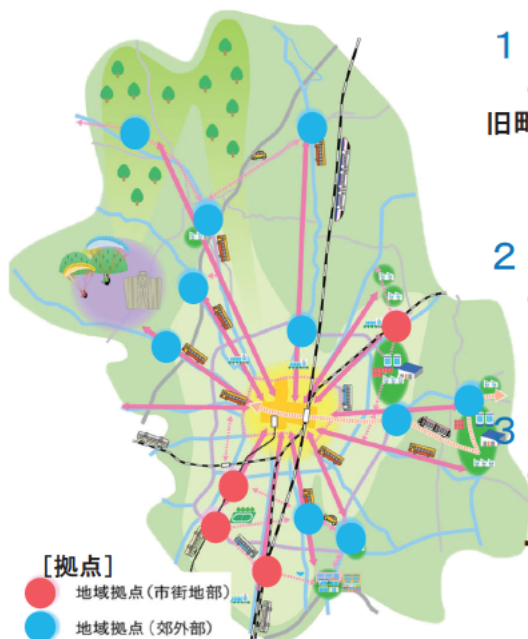
i-都市交流会議2020

4

## 4.NCC形成に向けて

### ◆ 将来の都市の姿のイメージ

市域全体を見渡しなが、市内の各地域に拠点を定め、各拠点を交通ネットワークで結ぶ



〔拠点〕  
● 地域拠点(市街地部)  
● 地域拠点(郊外部)

i-都市交流会議2020

#### 1 多極型の都市構造

- 都市の成り立ちなどを踏まえ、中心市街地に加え、旧町村の中心部などに身近な地域の拠点を設け、拠点内に生活に便利な施設を誘導・集積

#### 2 公共交通ネットワークの構築

- 拠点間を結ぶ公共交通と地域を面的にカバーする公共交通を整備することで、誰もが利用しやすい公共交通ネットワークを構築

#### 3 誘導による居住の集約

- ライフスタイルに合わせて多様な暮らし方を選択できるまちを形成
- 便利で住みやすい場所には、時間をかけながら、特に次の世代に対して、居住選択に応じ、緩やかに居住を誘導

## 5.NCC『拠点形成』

**市街化区域** と**市街化調整区域**の特性を踏まえながら・・・

#### 1 拠点の配置・形成

- 鉄道駅の周辺など、アクセスしやすい場所に拠点を配置

**都市機能誘導区域** : 10カ所(H29.3に設定)

**調整区域の地域拠点** : 7カ所(H30.3に設定)

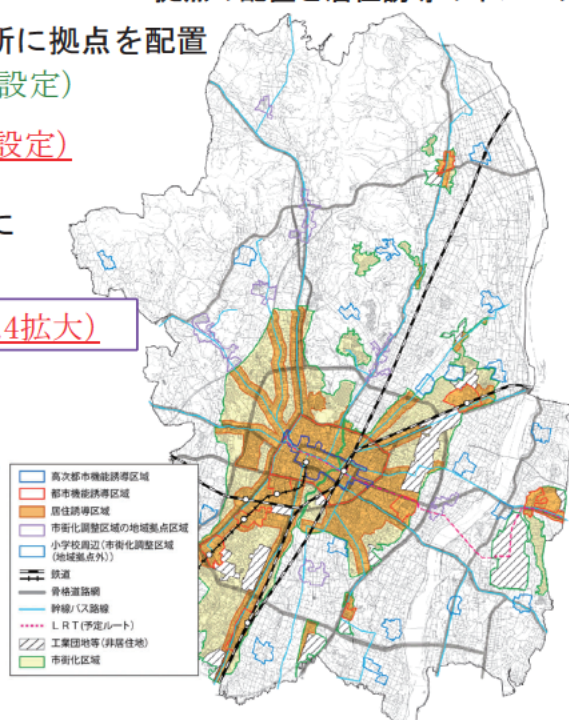
- 拠点に、医療や商業施設などの日常生活に必要な機能を誘導し、生活しやすく

**都市機能誘導施設立地促進補助金**(H30.4拡大)

#### 2 居住の誘導

- 市街化区域では... **居住誘導区域**として、拠点や公共交通沿線の利便性の高い地域に居住を誘導
- 市街化調整区域では... **地域拠点** や **小学校周辺** に居住を誘導

拠点の配置と居住誘導のイメージ



i-都市交流会議2020

## 6.NCC『公共交通ネットワーク』構築

### ■基幹公共交通の整備

- ・東西の基幹公共交通として輸送力等に優れた**LRTを整備**  
JR駅東側・・LRT整備工事の実施  
JR駅西側・・整備に向けた検討の実施

### ■バス路線の充実

- ・LRTと重複するバス路線を振り分けることで、  
**公共交通空白地域の解消や**  
**拠点間の連携強化等**を図る

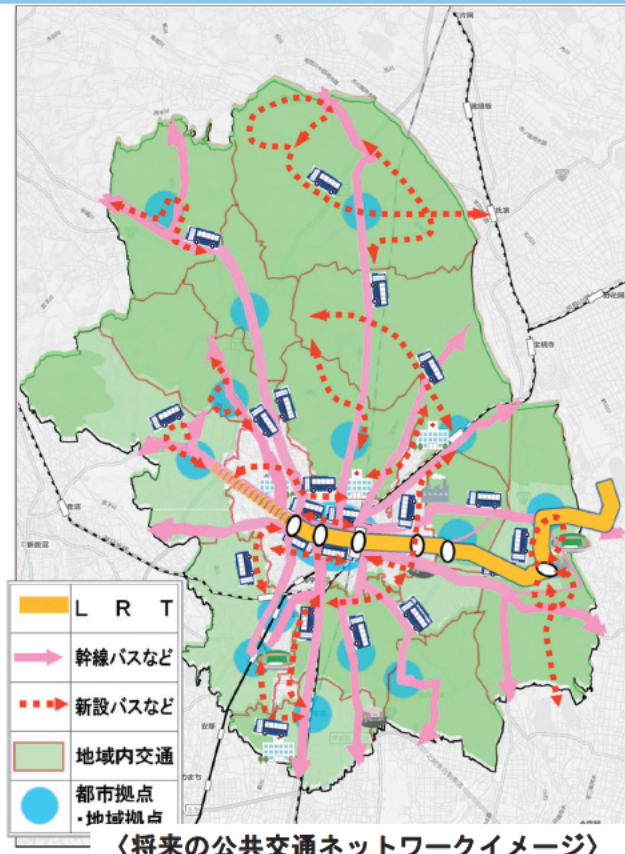
### ■地域内交通の整備

- ・**郊外部全域に地域内交通を整備し、**  
地区内の移動手段を確保

### ■交通結節機能の強化

- ・鉄道やLRT、バス、地域内交通、  
自動車、自転車等を連携させる  
**交通結節機能を強化**

i-都市交流会議2020



〈将来の公共交通ネットワークイメージ〉

7

## 宇都宮市の概要



### 歴史

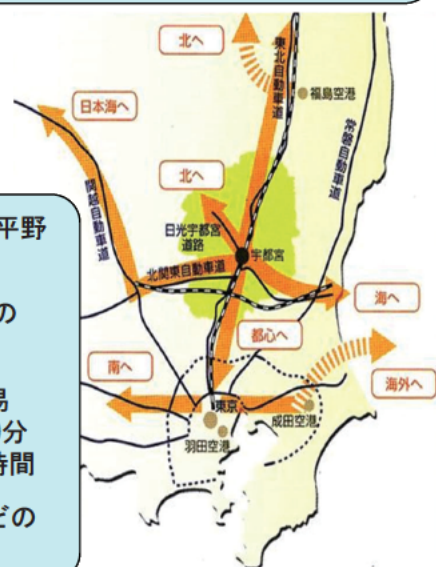
- ・二荒山神社を中心に  
門前町として繁栄
- ・平安末期に宇都宮城の  
城下町として繁栄し、  
江戸時代は、小江戸と  
も呼ばれる
- ・明治29年に市制施行
- ・平成8年に中核市へ
- ・平成19年3月に近隣2町  
と合併し50万都市へ

### 立地特性

- ・東京から北へ約100km、関東平野  
のほぼ北端に位置
- ・日本のほぼ真ん中の栃木県の  
中央に位置する県庁所在地
- ・首都圏からのアクセスが容易  
※東北新幹線で東京から約50分  
※東北道で東京から1.5~2時間
- ・日光や那須・塩原、益子などの  
観光地への表玄関

### 基礎データ

- ・面積 41,685ha (県土の約6.5%)
- ・人口 519,343人 (県人口の約1/4)  
(R1.9.1現在)
- ・都市計画 市街化区域 9,341ha  
市街化調整区域 32,344ha



i-都市交流会議2020

8